

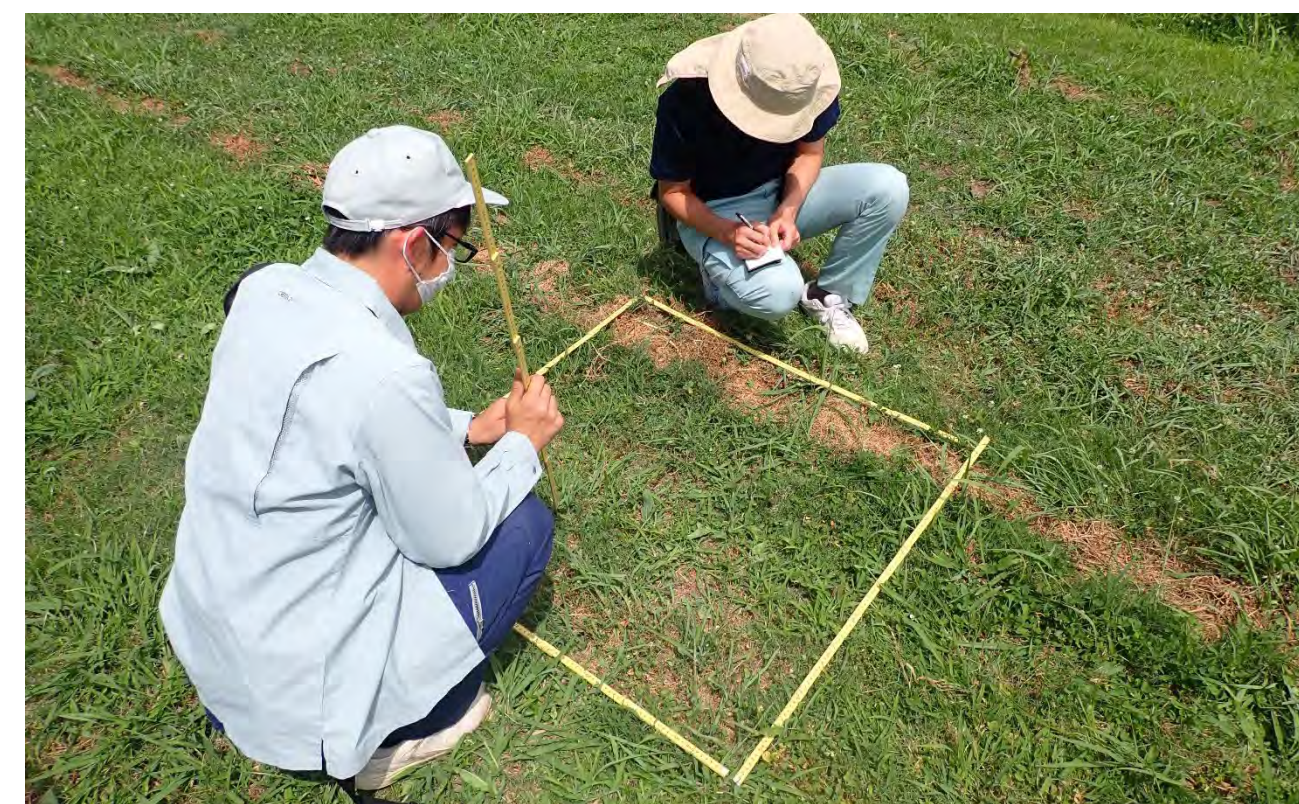


センター内生物調査

生物多様性センターでは、敷地内にあるビオトープ池や草地、樹木などで生息または利用している生物を把握するため、センター内の生物調査を実施しています。

調査内容

- 春から秋にかけて、植物や昆虫など幅広い生物相の一斉調査を行っています。
- また、イベントや講習会を通じて、府民の皆さんと一緒に生物調査を行っています。
- 一斉調査やイベント等での生物調査では、サポートスタッフの方々にご協力いただいております。
- さらに、日々の業務中や休憩時間にも観察された種を記録しています。



調査風景（左：昆虫調査、右：植物調査）



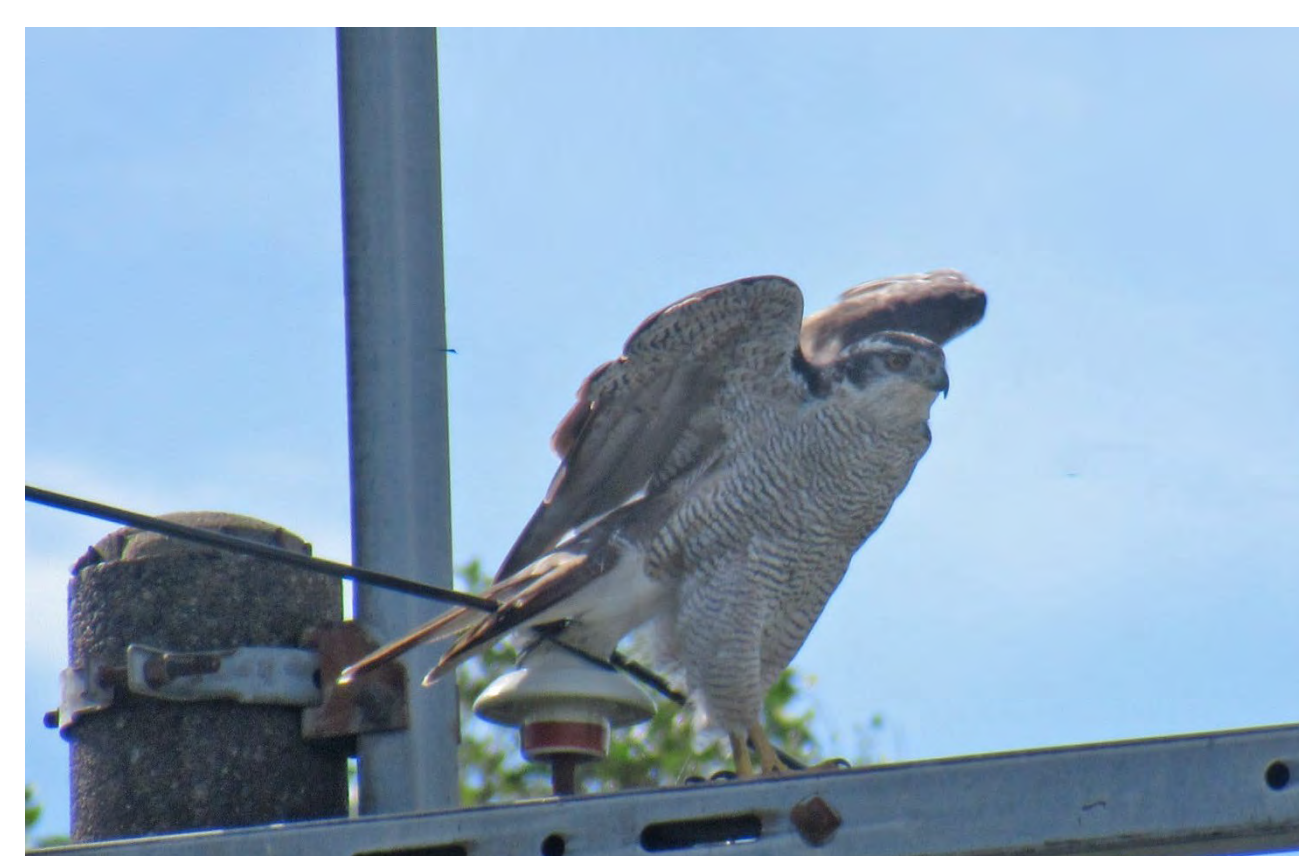
サポートスタッフの方々と実施した一斉調査の様子

確認された生物

- これまでの調査では、植物81種、鳥類56種、両生類4種、爬虫類9種、哺乳類10種、昆虫类等143種の合計**307**種が観察され、種の多様性が高いことが明らかになりました。
- 鳥類では、水場を利用するカモ類、サギ類や、猛禽類のオオタカ（絶滅危惧種）が確認されました。
- 昆虫類では、トンボ類が府内で見つかる種の1/4ほどにあたる**28**種が確認されました。
- 当センター敷地は環境省の自然共生サイトとして認定されており、本調査の成果を自然共生サイトのモニタリング調査に活用しています。



オモダカ



オオタカ



ヌマガエル



シマヘビ



タイワンウチワヤンマ



キツネ

自然共生サイト

おおさか環農水研 生物多様性センター

